

第3回学校運営協議会 各部からの報告

(3 学年)

3年生では、「夢に向かって」・「自立（自律）する」・「人にやさしく」をスローガンに掲げ、様々な場面で生徒が自主的・主体的に行動できるし、学校のリーダーとなって欲しいと考え指導してきました。

「夢に向かって」・・・生徒一人ひとりが、自分の夢（進路）に向かって努力する環境づくりに努めました。進路カフェや自習室で夜遅くまで勉強に取り組む生徒、朝早くから講習に参加している生徒、コロナ禍で全体指導が難しい中、要所要所で集会を行い、進路指導を行ってきました。また、受験の続いている生徒もいますが、最後まで粘り強く頑張ってもらいたいと思います。

「自立（自律）する」・・・残念ながら、年度当初には懲戒指導を受ける生徒もいましたが、日を追うごとに学年全体が落ち着いていったと思います。前期には、様々な行事がありましたが、後期に入り、受験モードに入ると落ち着いて学校生活を送っていました。しかし、コロナ禍で体調管理をしっかりとすることを指導してきましたが、無理させることができず、学校を休む（出席停止ではありますが）生徒が数多く出てしまったことは残念に思います。

「人にやさしく」・・・体育祭や文化祭では、3年生らしく学校全体をリードし行事を盛り上げてくれました。自分のことだけでなく、周囲を見て行動するリーダーが複数名頑張ってくれました。また、学年全体で受験に向かう姿勢を伝え、受験が終わった生徒もまだ受験が続いている生徒も学年全体で頑張るといふ雰囲気が崩れなかったことも他者を思いやる気持ちにつながっていたと思います。

いよいよ卒業を迎える時期ではありますが、これから社会という大きな世界で力強く羽ばたいて欲しいと願っています。

(2 学年)

今年も新型コロナウイルスに振り回される一年間でありました。体育祭や文化祭は延期や変更があいついたことが残念でした。とくに、体育祭については、昨年度に実施できなかったことから、手探りでの実施となり運営生徒も苦労が多かったように思います。ですが、生徒のアンケートでは、「来年は行事で思い出に残る学年にしたい」という声も多く、新3年生としてがんばってくれるのではないかと思います。

10月の修学旅行は、最高の思い出となりました。9月はコロナウイルスが猛威を振るい、生徒も教員も不安な中でグループ決めや部屋割りを行いました。ですが幸いなことに9月末には、状況が落ち着きを見せ、他校で延期や中止といった話が出た中で、修学旅行を予定通りのスケジュールで実施できました。クラス別のアクティビティやファームビジットといった、大阪の日常生活では体験できないことを体験でき、満足度が非常に高いものとなりました。

(1 学年)

学校教育自己診断アンケートより、「授業の雰囲気」及び「自身の授業態度」が良くないと感じている生徒が例年より増加し、また、「家庭学習時間」が減少している。高校生活で大切にしたいこととして、「学習活動」「将来への進路計画」をあげている生徒が減少しており、授業・家庭学習・進路実現を自分事と捉えることの指導が急務の課題である。

一方、高校生活で大切にしたいことに、「学校行事」をあげている生徒が多く、その「体育祭」や「クラスマッチ」は良かったと回答している。クラブ活動の加入率低下はデータを見るまでもなく、身をもって感じており、その分、充実した学校生活を送るカギとなる学校行事や学年・クラス運営を生徒が積極的に取り組む内容にすることが求められると考える。

(総務部)

【オープンスクール】

11/13(土)に新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、以下の要領で実施した。

- ①HP と文書両方を通じて、「2部制・中学3年生の生徒のみ参加・完全予約制・全席指定」を伝えた。
- ②座席は前後左右1席ずつ空け、視聴覚教室と会議室の2会場に分散実施した。
- ③受付で検温、マスク着用、消毒を徹底した。

④第1部は13:00~13:40の全体会(40分) + 個別質問会とクラブ自由見学(15:00まで)

第2部は15:00~15:40の全体会(40分) + 個別質問会とクラブ自由見学(17:00まで)

全体会では、学校紹介動画を見た後、1年生有志による学校生活の発表、教員による総合学科の説明を行った。生徒会の生徒が司会し、受付等は1年生やボランティア部員が担い、中学生約250人が参加した。

【合格者説明会】

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、体育館での全体説明を取りやめ、2部形式で実施した。各教室に分かれて行い、その後の物品購入は、教室ごとに担当教員が案内する方式で行った。

(教務部)

本年度も引き続きコロナ禍で授業、行事を進めていかなければならなかった。

休校措置になった時の対応(授業日数の回復、授業時数の確保など)について、管理職、各分掌と調整を行い、対応した1年であった。

定期考査・成績処理について、ミスが起きないように注意喚起を行い、予防に努めた。

定期的に教育課程委員会と教科会を実施し、新カリキュラム・観点別評価について議論し、また、校内研修でも取り上げるなど、全教員への周知をしてきた。

学外の学修の単位認定について、昨年度はコロナのため実施されなかった高大連携講座やボランティア活動は、オンラインや一部受け入れがあったので、検定試験も含め本年度は実施できた。

(進路指導部)

48期生の進路状況(2021年12月末現在; 254名回答)

- ・進路決定済み: 161名(63.4%)
- ・進路未決定: 93名(36.6%)

昨年47期生と比べると、12月末での進路決定済み生徒の数が4.3%(10名ほど)増加した。年内入試の合格者数の増加や、全国的な安全志向の影響で、本校でも年々年内で進路を決定する生徒が増加している。

進路別で見ると、国公立大学希望者が昨年の約半数に減り、短期大学希望者が2倍以上に増えた。その他

専門学校や就職・公務員希望者の数は昨年とほぼ変わらない。

また、指定校推薦での進学数が今年度は65人と、昨年の53人を大きく上回った。今や、約4人に一人が指定校推薦進学者である一方で、関西有名私大の指定校推薦枠は例年と変わらず埋まっていないのも現状である。この結果や例年の最終進学状況からもわかるように、関西有名私大への進学を考える場合は、低学年時からの進路意識が大切であることがわかる。今年は特に、専門学校や短期大学の指定校推薦進学者の増加率が目立った。

(生徒指導部)

12月までの懲戒は5件10名、内容は喫煙・単車登校・暴言・迷惑行為などであった。

10月～12月の遅刻者は1,233名で昨年比92.2%であった。生徒指導部としての活動はコロナの影響を直接受けしており、1年の交通安全指導・2年の薬物乱用防止教室がcaろうじて実施できた行事である。平素の遅刻等の指導はほとんど出来ておらず、「コロナ不安」「感染の疑い(発熱・体調不良等)」と言えは遅刻・欠席等も許される事態に危機感を感じている。

(生徒会部)

体育祭

・生徒アンケート結果

楽しかった 92.3% (一昨年 91.7%)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で延期を繰り返したが、6月末に何とか実施できた。暑い時期だったので二日間に分けたり、日よけを作ったり、PTAから飲み物を支給していただいたり、感染症対策だけでなく熱中症対策も必要であった。現在来年度の体育祭に向けて生徒会執行部の生徒と準備をしている。

文化祭

・文化祭アンケート結果

楽しかった 86.3% (昨年 83.1%)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で急遽一日開催で行った。乗り物系の企画が多かった。有志企画もたくさん出た。例年作っている垂れ幕を今回は立体の含めた展示物という形で行った。各団体の個性が光っていた。来年度は一か所に集約して審査等できるようにしたい。飲食企画への要望が多数寄せられた。感染状況等踏まえながら検討していきたい。

(保健部)

今年度も、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年であったが、昨年度は中止せざるを得なかったいくつかの行事を、感染症対策を十分に行いながら実施することができた。

- ・昨年度からの継続で、各教員が一日一回、各々の清掃分担区域の消毒を行った。
- ・昼休みに、生徒保健委員による、積極的に感染症対策を意識した行動をとるように注意喚起を促す全校一斉放送を行った。
- ・11月に、グラウンドに避難する従来の避難訓練を実施し、実際の避難経路の確認や避難時の集合隊形などを確認した。なお、6月の避難訓練は、教室で放送による訓練であった。

- ・昨年度中止だった、一年生への性教育講演会を体育館で実施した。(従来は視聴覚教室)
- ・新型コロナウイルス感染症の終息の兆しはまだまだ見えない。特に1月に入ってから、濃厚接触者の特定を学校が担うことになってから、基本情報の収集や消毒箇所の特定制等にかかなりの時間が費やされている。より、システマティックな対応ができる体制を整える必要があると考えている。

(人権教育委員会)

教職員向け研修 1 回目は「あらためて SDG s とは何か ～変革×人権×教育～」、2 回目は「部落出身者の実態」というテーマで講演を実施しました。生徒向けの人権講演会は、いじめや国際問題、アパルトヘイトなどをテーマとした FUNKIST 染谷西郷によるトーク&ライブをビッグアイで行いました。各学年での人権学習については、1 年生は入学後すぐに「情報と人権」を、さらに外部講師を招いてインターネットの安全な使い方に関する講演を1月に実施しました。堺支援学校との交流会はオンラインで行い、障がい者体験を11月に実施しました。映画「めぐみ」(北朝鮮拉致問題)の上映は各教室のプロジェクターを使用して鑑賞しました。2年生は、高校生のための法律講座を10月に実施しました。例年実施している虐待防止プログラム講演は、昨年同様実施できず、今年度はNTTドコモから講師を招いて「スマホ・ケータイ人権教室」を実施しました。3年生は例年通り、就職と人権、HIV・エイズ防止教育を、外部講師を招いて実施しました。

(生徒支援委員会：矢田栄美)

令和2年度に、相談室(ほっとコーナー)来室数が年度の2倍に増えた。今年度も、年度当初からほっとコーナーを利用する生徒が多いことから、同様に昨年以上の利用数が見込まれる。今年度は、欠席が続く生徒やコロナ後遺症・コロナ不安等の配慮を要する生徒の検討が、全学年合わせて10件以上あり、現在も学校でできる支援や対応を続けている。進路変更する生徒も今年度は十数件あり、学校での学びや過ごし方の検討が喫緊の課題になっている。

(自立支援委員会)

今年度3年生は3名それぞれが、事務職(特例子会社)、スーパーのバックヤード(障がい者枠)、自動車販売店洗車業務(障がい者枠)に内定が決まりました。実習にまじめに取り組み、自己理解を進めることでそれぞれが納得する進路となりました。また、下級生も先輩の姿を見て、実習への意欲を高め学校生活を送っています。

(探究・志学委員会)

- ・ 7/14(木) 堺支援学校交流会(1)・・・1年交流委員・自立支援生・生徒会執行部がオンラインで実施
- ・ 11/11(木) 障がい者理解講演とスポーツ体験・・・ファインプラザから講師を招き、1年生全員が講演を聞き、車いす乗車とボッチャを体験、代表生徒による車いすバスケットボールを実施
- ・ 11月中 堺支援学校との美術作品交流・・・放課後実施
- ・ 1/27(木) 堺支援学校交流会(2)・・・クラスごとで実施。調べ学習の発表やクイズ・ゲーム大会等実施。